

計画（案）の修正箇所について  
 （第 3 回策定委員会における委員意見及びその他修正一覧表）

NO	ページ	ご意見・修正箇所等	計画への反映
1	全体	最近ではほとんど元号を使っていない。西暦と併記して欲しい。	第 1 章、第 2 章、第 4 章、第 6 章について西暦と元号を併記
2	全体	レイアウトの修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図表の表題は【 表題 】に統一</li> <li>・アルファベットは、本文は全角、図表は半角に統一</li> <li>・アンケートに記載していた注釈を計画（案）に追記（p 75、p 118、p 142）</li> </ul>
3	p 15	「5 介護保険の状況」の「（1）要支援・要介護認定者数、介護保険給付費総額の推移」	<p>文章を追加</p> <p><b>【追加後】</b>  <u>介護保険給付費総額の推移も増加しています。</u></p>
4	p 18	「（2）健康増進・食育を進めるにあたって力を入れるべき取り組み」について「食生活・栄養バランスの改善」が 26.1%で、3 番目に多いのではないか。	データを見直し文章を修正
5	p 20	「9 健康課題」について、「血糖に関する値（HbA1c）の有所見者割合（県内市町比較）」のグラフは平成 26 年のものになっているが、下の「腹囲・BMI・HbA1c の有所見者割合（町別割合）」のグラフは平成 28 年のものである。	平成 28 年度データに差し替え
6	p 20	「腹囲（町別割合）」のグラフについて、加古川町だけが突出しているのはなぜか。	データを見直し、正しいものと差し替え
7	p 25 p 55 p 58	「これまでの主な取り組み」	<p>文章を追加</p> <p><b>【修正後】</b>  <p>p 25・<u>若年層へは、成人式出席者に受診勧奨のパンフレット等を配布しました。</u></p> <p>p 55・<u>若年層対策として、成人式出席者にアルコールに関するパンフレット等を配布しました。</u></p> <p>p 58・<u>若年層対策として、成人式出席者に歯と口の健康に関するパンフレット等を配布しました。</u></p> </p>

NO	ページ	ご意見・修正箇所等	計画への反映									
8	p 28	<p>■糖尿病①糖尿病有病者 グラフ下の※注釈</p>	<p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予備群（特定健診保健指導判定値）： 空腹時血糖 100mg/dl 以上 <u>126mg/dl 未満</u>または HbA1c（NGSP 値）5.6%以上 <u>6.5%未満</u></li> <li>要医療（特定健診受診勧奨判定値）： 空腹時血糖 126mg/dl 以上または HbA1c（NGSP 値）6.5%以上</li> </ul>									
9	p 30	<p>■脂質異常症有病率の割合 グラフ下の※注釈</p>	<p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予備群（特定健診保健指導判定値）： LDL-C120mg/dl 以上 <u>140mg/dl 未満</u>または <u>HDL-C34mg/dl 以上 40mg/dl 未満</u>または中性脂肪 150mg/dl 以上 <u>300mg/dl 未満</u></li> <li>要医療（特定健診受診勧奨判定値）： LDL-C140mg/dl 以上または HDL-C35mg/dl 未満 または中性脂肪 300mg/dl 以上</li> </ul>									
10	第4章 第6章	評価指標	<p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4章</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>策定時値 平成 24 年 (2012 年)</td> <td>中間評価値 平成 29 年 (2017 年)</td> <td>新目標値 平成 34 年 (2022 年)</td> <td>中間評価 値の算出 資料</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6章</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td>策定時値 平成 29 年 (2017 年)</td> <td>目標値 平成 34 年 (2022 年)</td> <td>策定時値の 算出資料</td> </tr> </table>	指標	策定時値 平成 24 年 (2012 年)	中間評価値 平成 29 年 (2017 年)	新目標値 平成 34 年 (2022 年)	中間評価 値の算出 資料	指標	策定時値 平成 29 年 (2017 年)	目標値 平成 34 年 (2022 年)	策定時値の 算出資料
指標	策定時値 平成 24 年 (2012 年)	中間評価値 平成 29 年 (2017 年)	新目標値 平成 34 年 (2022 年)	中間評価 値の算出 資料								
指標	策定時値 平成 29 年 (2017 年)	目標値 平成 34 年 (2022 年)	策定時値の 算出資料									
11	p 75 p 76	<p>【3】運動・身体活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前文</li> <li>行政の取り組み③</li> <li>「フレイル」という言葉は、皆さんに浸透している言葉であると考えて良いのか。これも注釈を足した方が良いのでは。</li> </ul>	<p>文章を追加</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロコモティブシンドローム（運動器症候群）、<u>サルコペニア（筋肉減少症）やフレイル（虚弱）</u></li> <li>用語解説に「サルコペニア」と「フレイル」を追加</li> </ul>									
12	p 84	<p>「【7】歯と口の健康」のところで、「かかりつけ歯科医をもち、1年に1回は定期検診を受診します」という文言になっているが、日本歯科医師会の指針では「半年に1回」となっている。</p>	<p>個人の取り組みを修正</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ歯科医をもち<u>1年に1回以上は定期健診を受診します。</u></li> </ul>									

NO	ページ	ご意見・修正箇所等	計画への反映
13	p 89	7 健康増進計画の推進に向けて (1) 計画の目標値と評価 「目標値の考え方」	文章を修正 【修正後】 ①中間評価において目標値を達成している指標については、現時点からのさらなる改善を目標とし、「 <u>中間評価値より減少傾向へ</u> 」または「 <u>中間評価値より増加傾向へ</u> 」とする。 ②中間評価において目標値を達成していない指標については、引き続き同じ目標値とする。 ③中間評価において見直した指標については、平成29年度（2017年度）からの5年間の改善率を、 <u>中間評価値のおおむね10%～20%とする。</u>
		(2) 推進体制	文章を追加 【追加後】 <u>全ての市民が健康寿命の延伸に向けて、ウェルネスな生活を送るために、自分の健康について関心をもち、健康づくりに取り組むことが大切です。</u> <u>また、ウェルネスプランかこがわ推進連絡会を通して、関係団体と行政が連携・協働しながら、効果的・効率的な健康づくりに関する取り組みを展開します。</u>
14	p 117	朝食を欠食する若い世代（20歳代と30歳代）の割合22.1%について。	評価指標となっており、根拠となる図表が抜けていたため追加 【追加後】 (再掲) 20～30歳【N=348】のグラフを追加
15	p 128	行政のとりくみ「③共食を推進します」の「各家庭の状況に応じた、食事づくりへの参加促進」とあるが、これはどういう意味か。	わかりやすい文章に修正 【修正後】 ・各家庭の状況に応じた、 <u>食事づくり（買物・調理・後片付け）への参加促進</u>
16	p 129	指標⑥の食事づくりにほとんど毎日参加する人の割合について、策定時値が124ページのグラフと数値が異なる。	正しい策定時値に修正 【修正後】 ④高校生 <u>40.4%</u>

NO	ページ	ご意見・修正箇所等	計画への反映
17	p 129	<p>指標⑧ベジ・ファーストを知っていて、実践している人の割合と指標⑨低栄養傾向（BMI20.0以下）にある高齢者の割合について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低栄養予防の対象を70歳以上にすればどうか。ベジ・ファースト推進の対象年齢と重ならないほうがよいか。</li> <li>・糖尿病学会では、75歳以上で線引きしている。75歳をすぎたら、血糖コントロールの目標値が緩くなる。</li> <li>・年齢が重なっていてもよいと思う。</li> </ul>	<p>指標の対象を修正</p> <p>【修正後】</p> <p>指標⑧の対象 <u>18～74歳</u></p> <p>指標⑨の対象 <u>75歳以上</u></p>
18	p 132	<p>「技術家庭科や保健体育などにおいて、学習指導要領に沿った食育授業の実施」で、小学校を外した理由は何があるか。</p>	<p>担当課と相談して修正</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>小学校では家庭科や体育科、中学校・高等学校では技術家庭科や保健体育科などの関連教科において、学習指導要領に沿った食育事業の実施</u></li> </ul>
19	p 132	<p>認定こども園と保育所に関する指標が入っていない。保育所等での食育推進に向けて連携や取り組みを進めているところを、反映していないのか。</p>	<p>指標を追加</p> <p>【追加後】</p> <p><u>目標（1）食育年間指導計画に基づき、年齢発達段階に応じた食育を推進している園の増加</u></p> <p><u>指標①認定こども園・保育所での食育年間指導計画策定率</u></p> <p><u>策定時値：94.7%</u></p> <p><u>目標値：100%</u></p>
20	p 135	<p>地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承し、伝えている人の割合32.8%について。</p>	<p>評価指標となっており、算出方法の記載が抜けていたため追加。</p> <p>【追加後】</p> <p><u>※継承し伝えている人の集計は、「受け継いでいる」と回答した人の割合と「伝えている」と回答した人の割合を掛けて算出</u></p>
21	p 138	<p>指標③「非常用食料などを備蓄している人の割合」について、もう少し意識を持っていただけるよう「50%」くらいに上げた方がよいのでは。</p>	<p><u>目標値：50%以上</u>に修正</p>
22	p 142	<p>食品ロスを削減するため何らかの行動をしている人の割合72.7%について。</p>	<p>評価指標となっており、根拠となる図表が抜けていたため円グラフを追加</p>

NO	ページ	ご意見・修正箇所等	計画への反映
23	p 149	個人の取り組み「・食を楽しみ、自分ができることを探して自分らしい食育を実践します」の意味がわかりにくい。「食育の日」を広めてほしい。	わかりやすい文章に修正 【修正後】 ・ <u>食育月間・食育の日を知り、自分ができる食育活動を実践します。</u>
24	p 150	指標③「食育の推進に関わるボランティアの数」について、目標値の達成が厳しいと思う。	<u>目標値：190 人に修正</u>
25	p 150	7 食育推進計画の推進に向けて (2) 推進体制	文章を追加 【追加後】 <u>市民一人ひとりが食育に関心をもち、食育実践へつなげるために、関係団体と行政が連携・協働し、総合的に取り組むことが必要です。そのためには、主に食に関する関係団体で構成するウェルネスプランかこがわ推進連絡会において、食を通じたネットワークづくりを拡充し、効果的・効率的に取り組みを展開します。</u>